

「総ぐるみ」新聞

第八回、春のお出かけサポート ～野島公園他～

上原 敏夫



今回、お出かけサポートを手伝うようにという指示が宮崎理事長よりあり、企画段階より参加しました。先輩の新しいさんや望月さんのご指導によって無事終了することができたことを感謝しています。

前回のお出かけ先は三溪園でしたが、園内が広すぎて、歩くのがたいへんだったという参加者の声がかかったことから、今回は少しコンパクトな企画として、野島公園の旧伊藤博文金沢別邸と付属牡丹園、金澤文庫

の称名寺の見学を組み合わせ、間に昼食を、和食の桔梗亭で楽しんでいただくことにしました。

昼食処としては、明治の元老や経済界の重鎮達が会食を楽しんだ金澤園という料理屋も候補に上がりましたが、昔は座敷から庭園越しに海が見えたのですが、今は近隣の環境が変化してしまったことや、家屋は神奈川県指定の有形文化財ですが、トイレ等に大きい段差があることから、今回は断念しました。

明治から昭和にかけて、現在の京浜急行、京急富岡から金沢八景駅周辺は、海を近くに臨む別荘の人気の場所であつたらしく、作家の直木三十五や日本画家の河合玉堂の別荘等があつたようです。

今回のお出かけサポートは、あまり欲張らずに実行してみました。参加された皆様方は、どのように感じられたでしょうか？

次回秋のお出かけサポートは、また観点を改めて目新しい企画をスタッフ一同作る気でありますが、行きたいところのリクエストを、ぜひ、ぜひお寄せいただきたいと思えます。たとえば、海か山の絶景か、美術工芸品の鑑賞か、または動物園・水族館・遊園地、

NP O 総ぐるみ福祉の会事務所は、港南区日限山 4-45-10 (八四六-八八五〇) 入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」 日限山 4-7-1

花の美しい公園などといった具体的なご希望をお聞かせください。屋外の見学は天候に左右されたり、足場のよしあしの問題があったりしたいへんですが、参加者の皆様に喜んでいただける楽しい企画を目指して頑張ります。最後に、称名寺境内で浮んだ一句を左に紹介します。

若芽むす驚微動だに昼下がり

【参加者の感想】

◎昼食に大満足

河西 マキ

久方ぶりに上気となった4月22日、参加者22名は事務所前に集合し、小型バスに乗り込んで野島公園に向けて出発しました。車内では、今回の目的地についてガイドしてくださいの方があり、参考になりました。

最初の目的地、伊藤博文公の別邸では足の弱い方は車椅子に乗られ、庭から縁側にリフトで上がるのですが、男性ヘルパーさんがすべてしてくださり、心強いことでした。明治を思わせるお風呂場・かまど・トイレ等は珍しく、またどの部屋からも見える海では、あさり採りをしている人が大勢いました。隣接の牡丹園で満開の花と蕁草きの別邸をバックに記念撮影をしました。

漁師手作りの海苔を売るお店でお土産を購入したり、海苔入りみそ汁を試食したりしました。昼食は、桔梗亭で日限山荘ではまねのできない美しいお料理をいただき、デザー

健康体操の予定日：6月12日、26日

マッサージ：6月19日（事務所）6月5日（日限山荘）

トの黒蜜かけ抹茶プリンに大満足でした。最後は金沢山称名寺に参拝。白鷺・青鷺・亀もいる大きな池の赤い反り橋や平橋を渡り、庭園を散策しました。

どなたも具合が悪くならず、怪我もなく、全員無事に日限山に帰着できました。お世話の方々、ありがとうございます。

◎金沢八景の旅

笹路 真二

金沢八景平潟湾の入り口にある野島は、その東側に遠浅の渚と松林があり、景色よく、あさり掘りも楽しめる公園となっていることはよく知られていますが、明治の元勲伊藤博文公の別荘が保存されていることは知りませんでした。この度のお出かけサポーターで、その伊藤公別邸を見学できて幸いでした。行ききのバスの中で、上原さんの金沢八景の景観のいわれを詳しく聞きつつ、今や多数のマンションと近代的ビル群に囲まれた現代の金沢の街並みの姿に、過ぎ去りし百五十年の歴史の推移を感じつつ車に揺られました。伊藤公の別邸は簡素でしたが部屋から見た松林の海浜と東京湾の景色は美しく、政治に疲れた体を癒すには最適と思われました。

桔梗屋で豪華な昼食をいただき、次は金沢文庫の称名寺を訪れました。私は足が悪いので称名寺池のほとりのベンチで参拝の皆さんの帰りを待つことにして、池の風情を楽しみました。春の称名寺池は亀が数多く甲らわ干しており、白鷺と青鷺が2羽じつと動かず、山の一角を見詰めている情景はのどかさそのものでした。今回のようなのどかな楽しい旅を企画された総ぐるみの役員はじめ、ヘルパーさんの方々に、お礼を申し上げます。

◎心地良い一日

吉村 祥子

春風薫る22日の「お出かけサポーター」は、天候に恵まれて心地良い一日でした。伊藤博文別邸は田舎風建築で、客間から東京湾が見え、あちらこちらに明治期の松が植えられていました。牡丹園は、今が盛りと色とりどりの大輪の花が見事で、さすが「花の王」だけあると納得しました。

桔梗亭で昼食をいただき、称名寺へと山門をくぐると、参道の先に丘陵を借景とした浄土庭園が広がり、池にかかる朱塗りの反り橋を渡ると、鎌倉文化の余香をしみじみ感じました。この寺を建てた北条実時は、一族中の逸材といわれ、和漢の貴重な書を多く集めて保存し、文庫を作りました。寺が焼けても文庫には火が及ばぬようにと、小山を隔てて隧道を作ったのです。この隧道をくぐると、目の前に近代的な金沢文庫が現れましたが、生憎この日は休館で見学できずに残念でした。五月一日から六日まで、寺はライトアップされ、六日には第十八回の薪能が開演されることでした。

◎野島公園お出かけサポーター

望月 富子

花散らしの雨の日が続いていて心配しましたが、当日は晴天に恵まれ、予定通りに事務所前を出発しました。車中では、ボランテニアの上原さんより、見学予定の「伊藤博文別邸」「称名寺」について説明をしていただき、目的地に到着しました。「博文邸の牡丹園」では、牡丹18種二〇〇株が満開で、とても豪華でした。また、目の前の平潟湾では、潮干狩りを楽しむ人達が、自然を満喫する風景が見られました。

～介護の現場～

介護保険制度の訪問介護について

よくある質問

Q：私は介護認定で認められているが、生活援助が受けられない。なぜですか。

A：同居家族がいる場合は、介護保険による援助が受けられないときがあります。同居家族が家事ができるか、できないかによって、介護保険が使えるか、使えないかが決まりますのでケアマネかNPO総ぐるみ福祉の会に相談して下さい。

NPO総ぐるみ福祉の会では、介護保険でできないことも自費で申し受けできます。

事務所へどんなことでもご相談ください。

事務所 Tel：045-846-8850

Fax：045-370-7272

(一柳 朗)

お土産を買い、昼食後に称名寺を散策、すべての行程が無事に終わって、日限山の事務所に帰ってきました。

今回のお出かけサポーターの下見の折に、ヘルパーの方数名が同行してくださりました。日頃介護福祉に携わっている方の視点の違いを、勉強させていただきました。例を挙げますと、何時間おきかにトイレ休憩する場所を考えますが、車椅子対応のトイレかどうか、手すりがあるかどうか、段差はどうかなどなど、わが身の知識不足を痛感しました。

このような心強いヘルパーさん達が同行してくださいますので、「人に迷惑をかけてしまうから、どうしようか……」などと悩まずに、皆さんと一緒に楽しみましょう。